

1. 平成25年度より向こう5年間安来市よりの指定管理の要請を受け、協定に基づき安来市加納美術館の運営管理と収蔵品の保持保存業務を行うとともに、安来市の文化振興に努める
2. 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、書、彫像、木工彫刻、水彩画の美術作品の展示およびそれらに関する学術講演会を実施する。
3. 展示および講演会などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、電柱広告などにより行う。
4. 25年度は次のイベントを行う
 - ① 企画展

1月～5月	『碗を愉しむ』名碗と備前焼茶道具展
1月～5月	小野竹喬・池田遙邨作品展
1月～3月	郷土の偉人 細田育宏展
6月～9月	『未来へつながる平和への想い』加納莞蕾特別展
10月～11月	『龍を描く女』濱田珠鳳指画展
10月～	古備前展
 - ② イベント

4月	安来ひなめぐり協賛
4月・5月	サクラ茶会・新緑茶会
8月	加納莞蕾展「講演会」
11月	カルチャーまつり、濱田珠鳳指画実演及び講演会
5. 美術館のサービスの向上→癒しとくつろぎのある美術館を目指して
 - ① 来館者へ抹茶のふるまいによるもてなしの充実を図る
 - ③ どじょっこTV、NHKの協力を得て展示品を映像などで詳しく説明する
 - ④ 学芸員、スタッフによる親切丁寧な解説、説明
 - ⑤ ポスター、チラシの発行（年3回～4回）によるきめ細かい情報発信
6. 公益法人化による運営の活性化
 - ⑥ 新体制の役員による仕事の分担化。イベントごとの担当理事を決める
 - ⑦ 加納莞蕾戦争の記録画の里帰りに再挑戦
 - ⑧ 次世代を託せる学芸員、企画員の確保（基本財産を取り崩しても）
7. 地域振興事業の推進
 - (ア) 学校、公民館などとの連携による美術、郷土の文化学習の啓発
 - (イ) 県ミュージアム協議会、文化事業団体などとの連携による地域文化の振興
 - (ウ) 和鋼博物館、さぎの湯温泉、夢ランドなどとの連携
8. 作品、建屋、設備機器の修復
 - (ア) エアコン、照明、空調（調湿）機器の改善、修復
 - (イ) 作品、建屋の中長期修理修復計画の立案と予算化
9. その他
 - ① セキュリティーの見直し
 - ② 省エネ→照明のLED化、エアコンの定期的清掃
10. 安来市開発公社貸付金の返済
 - ① 23百万円は返済されたが76百万円は25年度にずれ込んでいる。注視する